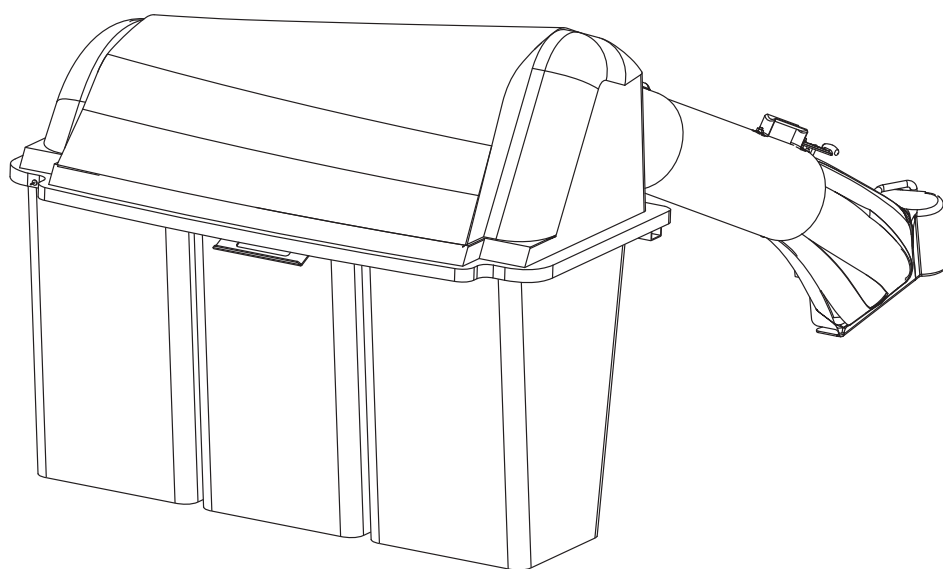


GM117用

グラスキャッチャー

取扱説明書



「必読」ご使用前に必ず本書をお読みください。

BARONESS[®]
Quality on Demand

Ver.1.2

目次

付属部品の内容物（ブロー無集草専用）	2
付属部品の内容物（ヒッチとフレーム）	3
安全の手引き	4
一般的警告事項	4
警告ラベル	5
アタッチメントのラベル	5
組み立て	6
モア取り付け金具の取り付け	6
バッフルの取り付け	6
ヒッチとフレームの取り付け	7
チューブの取り付け	8
チューブ（上）と透明チューブの取り付け	8
集草袋の取り付け	9
操作	10
グラスキャッチャーを付けての芝刈り作業	10
作業の後に	10
グラスキャッチャーの取り外し	11
グラスキャッチャーの取り付け	12
保管	12
グラスキャッチャーの保管	12

付属部品の内容物（ブロー無集草専用）

袋の内容物



図3-E,4F フランジ付ロックナット
5/16-18 4個 (1個不使用)



図1-B コニカルナット
1/4-20 2個 (1個不使用)



図3-B ワッシャー
0.341"ID×1.00"OD 1個 図3-D ワッシャー
0.341"ID×1.25"OD 1個



図3-C スペーサー
1個



箱の内容物

図 4-B バッフル 46" モア用 1 個



図 10 集草用排出口カバー 1 個



図 16-A 透明チューブ 1 個



図 16-B チューブ（上）1 個



付属部品の内容物（ヒッチとフレーム）

袋の内容物

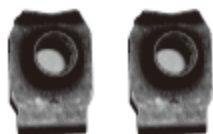


図6-A スピードナット
5/16-18 2個

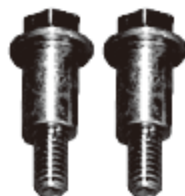


図6-D 段付ボルト
5/16-18 2個

図8-C 根角ボルト 3/8-16 X 0.875" 4個



図8-D フランジ付ロックナット
3/8-16 4個



図9-E クイックピン 2個



図9-D ヒンジピン 2個



箱の内容物

図 7-A ヒッチ 1個



図 8-A カバーサポート
ブラケット 1個



図 9-B カバー ASSY 1個



図 19-B 集草袋 3個



安全の手引き



以下の安全事項をよく読み、完全に従ってください。これらの安全事項に従わない場合、機械のコントロールを失い、作業者や周囲の人に重大な事故や死亡事故を引き起こす可能性があります。また、機械に損傷を与える可能性があります。
注意事項、警告事項を必ず守ってください。

取扱説明書を参照ください



一般的警告事項

- 取扱説明書や関連する機器の説明書をよくお読みください。各部の操作方法や警告ラベル、本機の正しい使用方法に十分慣れておきましょう。
- 安全のためのラベルを良く見て従ってください。
- 機械の操作に精通した大人だけ操作してください。
- 集草装置のいかなる部分の取り付け、調整、取り外しを行う際は、PTOスイッチを解除し、エンジンを停止し、稼動部が完全に停止したことを確認してから行ってください。
- 集草装置がしっかりと芝刈機本体にボルトで固定されているかを確認してください。
- グラスキャッチャー、排出口カバーが取り付けられていない状態での芝刈機の操作は絶対に行わないでください。
- 芝刈りをしないときは、ブレードPTOスイッチは停止にしてください。
- 特別な必要がない限り、後進しながら芝刈りをしないでください。後進する際は、方向をよく確認してゆっくり後進してください。
- 旋回する際は、ゆっくり行ってください。
- 決して人を運ぶために使用しないでください。
- グラスキャッチャーをモアデッキから取り外したときには、排出口カバーを正しい位置に取り付けてください。
- 集草袋は通常の使用下でも品質劣化や摩耗をします。裂け目や穴、弱くなった部分がないかを定期的に調べ、「BARONESS 純正部品」または「弊社指定部品」の新しい袋と交換してください。
- 安全性を高め、転倒をしないようにするために：
 - 凸凹な場所や旋回する際は、ゆっくり行ってください。

2. 斜面では荷重を減らしてください。傾斜地作業時には集草袋内の量は最大でも半分くらいまでにしてください。傾斜地で刈込み作業を開始するときには、集草袋を空にした状態で作業を開始してください。
 3. 斜面に対して、上下に芝刈り作業を行ってください。決して、斜面に対して横切る方向で芝刈りを行わないでください。(等高線刈り禁止)
- 16.7% (10度) 以上の斜面では、決して芝刈機を使用しないでください。



警告

常に芝刈機のエンジンを止め、PTOの連結を解除し、全ての可動部品が止まるのを待ってから、チューブの取り外しと清掃や、集草袋の中身を捨ててください。

いかなる理由でも、作業者が座席を離れる際には、駐車ブレーキをかけ、PTOの連結を解除し、エンジンを止め、キーを抜いてください。

火災の発生を減らすために、エンジン、芝刈機、モアに着いている刈り芝、落ち葉、余分なグリースをきれいにしてください。

乾いた落ち葉や刈り芝、可燃性のものの上に芝刈機を駐停車しないでください。



注意

芝刈機の操作を始める前に、このグラスキャッチャーと連結して使用する芝刈機の取扱説明書と同様に、本書の安全の手引きを全て読んでいるか確認してください。

※ 16.7% (10度) 以上の斜面では、決して芝刈機を使用しないでください。



注意

刈り芝を集草袋の中に入れてそのままにしないでください。使用のたびに、倉庫に入れる前に、集草袋を空にしてください。これを怠ると、自然発火が原因で火災に至ることが多々あります。

警告ラベル

安全に関する重要な取り扱い上の注意事項について、警告ラベルが貼ってあります。

乗用機械、アタッチメントそしてモアに貼ってある警告ラベルは「危険」「警告」「注意」に関する項目を意味します。

いずれも安全確保のための重要事項が記載してありますので、注意してお読みいただき、十分理解してから作業を行ってください。

これらを遵守されない場合、事故につながる恐れがあります。

以下の安全のためのラベルが製品に貼ってあります。

ラベルはきれいに保ち、損傷や汚れ、はがれがあった場合は、新しいものと交換してください。

この芝刈機は、適切に操作すれば、安全に使用できるように設計、生産されています。本書をよく読み、基本知識を理解して操作いただければ、安全に有効にこの芝刈機を取り扱う事ができます。操作中に特に重要な説明を警告ラベルとして、機械に貼ってあります。

アタッチメントのラベル

ラベル ー注意：飛散物注意マーク

部品番号 ーK4205001730



組み立て



警告

いかなるメンテナンス作業をする前にも、PTOスイッチを解除し、駐車ブレーキをかけ、イグニッションキーを抜き取り、点火プラグのワイヤーの接続を外してください。

モア取り付け金具の取り付け

1. 排出口の左側に、1/4-20×1.25“の根角ボルト(図1のA)を、モアデッキの内側から差し込み、図に示されているようにコニカルナット(B)で締めてください。

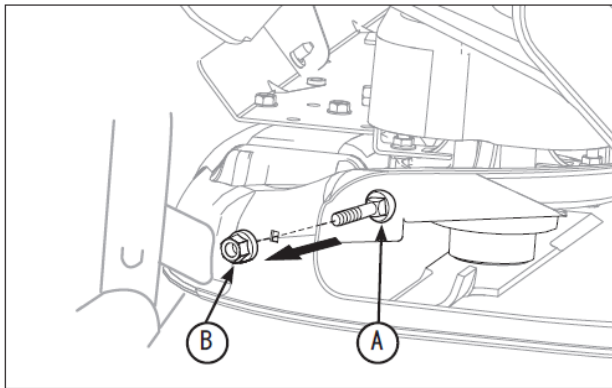


図1

2. 排出口の前方のデッキの内側から、1.25”の根角ボルト(図3のA)、0.341”OD×1.00”ODのワッシャー(B)、スペーサー(C)、0.341”OD×1.25”ODのワッシャー(D)を組み付け、図に示されているように、フランジ付きロックナット(E)で締めてください。

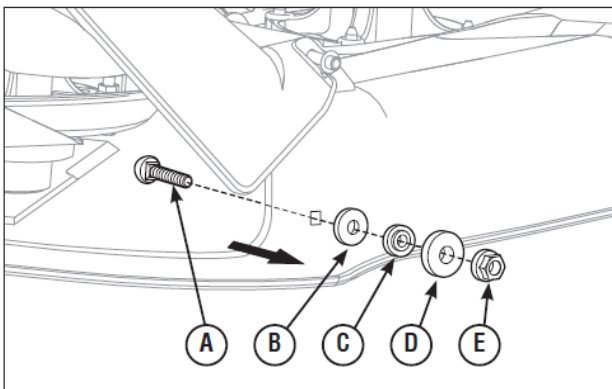


図3

バッフルの取り付け

1. 横の排出口カバー(図4のA)を持ち上げてください。
2. バッフル(B)を排出口から挿入し、モアデッキの中にバッフルを位置合わせしてください。
3. 2.0”の根角ボルト(D)を、バッフル(B)の穴、一番長いスペーサー(E)、モアデッキの排出口に一番近い穴(C)を通して差し込み、フランジ付きロックナット(F)で締めてください。
4. 0.75”の根角ボルト(H)を、バッフルの穴とモアデッキの中央よりの穴(G)を通して差し込み、フランジ付きロックナット(F)で締めてください。

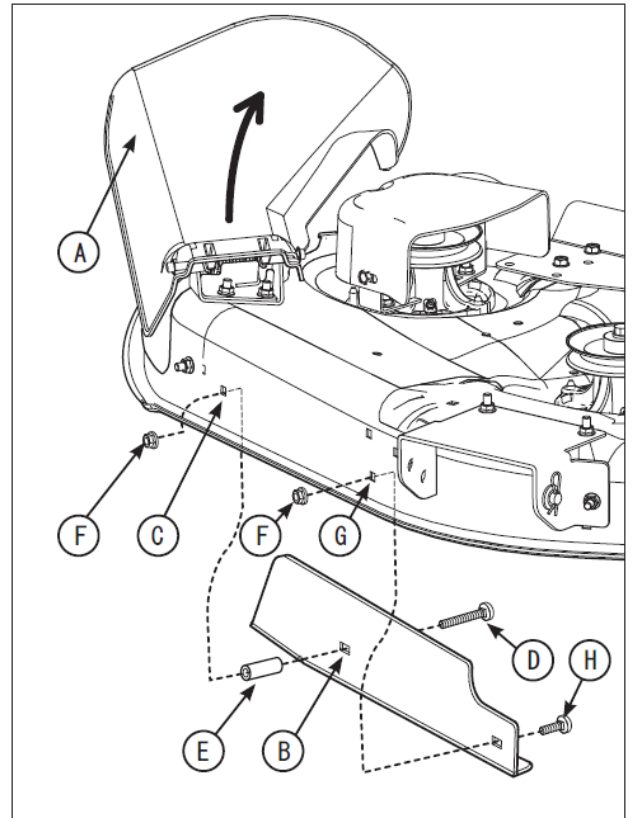


図4

ヒッチとフレームの取り付け

1. 5/16-18のスピードナット（図6のA）ねじ部（B）が、リアフレーム支え（E）の内側になるように、芝刈機後部のリアフレーム支えの四角い穴（C）を通して差し込んでください。
2. 5/16-18の段付きボルト（D）を図に示されているように差し込んでください。
3. 反対側も同様にします。

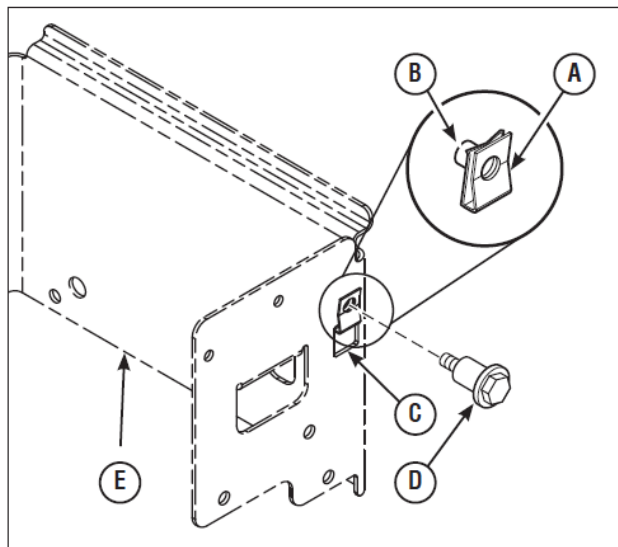


図6

4. 図に示されているようにヒッチ（図7のA）を、芝刈機後部のリアフレーム支え（C）の左右の段付きボルト（B）上に引っ掛けます。

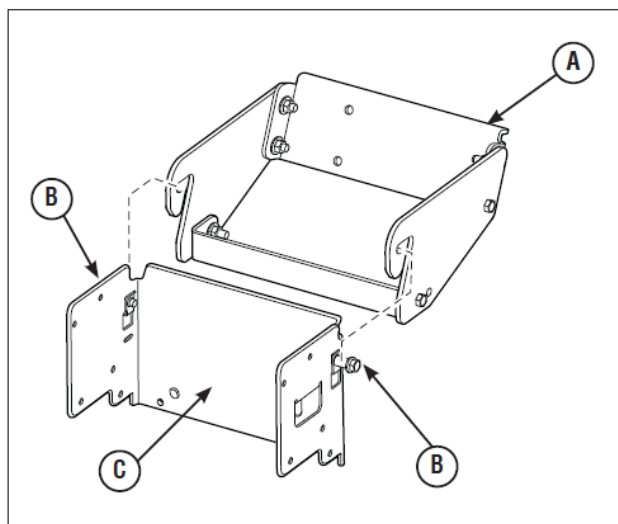


図7

5. 図に示されているようにカバーサポートブラケット（図8のA）を、3/8-16×0.875のボルト（C）4本と3/8-16のフランジ付きロックナット（D）で、ヒッチに取り付けられた支柱支え（B）に差し込んで固定してください。

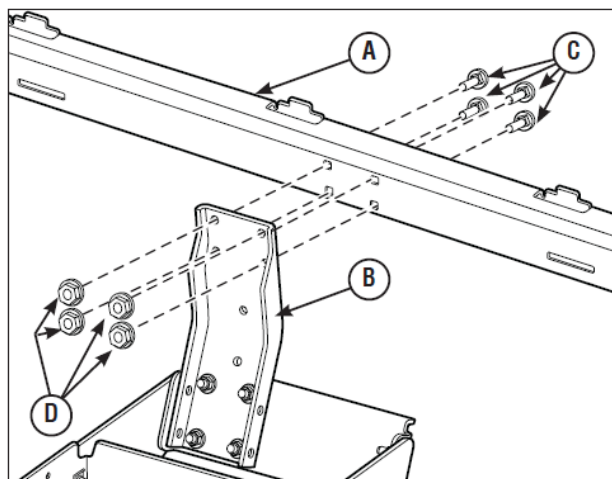


図8

6. カバーAssy（図9のB）を、ヒンジピボット（C）を使って、カバーサポートブラケット（A）に取り付けてください。カバーを図に示されているようにヒンジピン（D）とクイックピン（E）で固定してください。

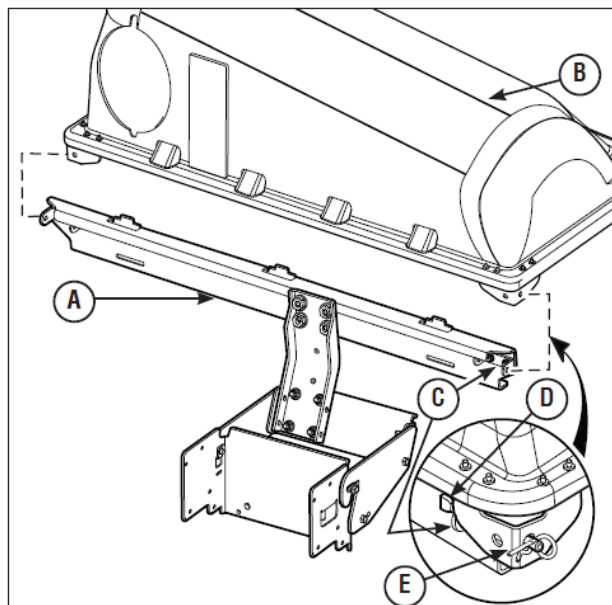


図9

チューブの取り付け

1. 図 10 に示されているように、掛け金を 46 “モア用の穴（後側の穴）に組み付けてください。

※ 必要であれば掛け金を外して組み付け直してください。

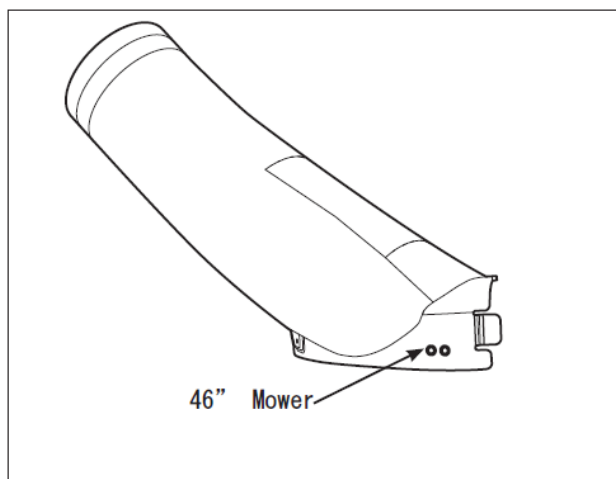


図 10

2. 集草用排出口カバーの左側を、1/4-20 の根角ボルト（図 11 の B）（組み立て-モア取り付け金具の取り付け-手順 1 で取り付け）に差し込んで、図 11 の A の状態にしてください。
3. 集草用排出口カバーの先端をディフレクター取り付けブラケット（C）の下に差し込んでください。
4. 集草用排出口カバーのつまみ（D）をモアデッキの内側に掛けてください。

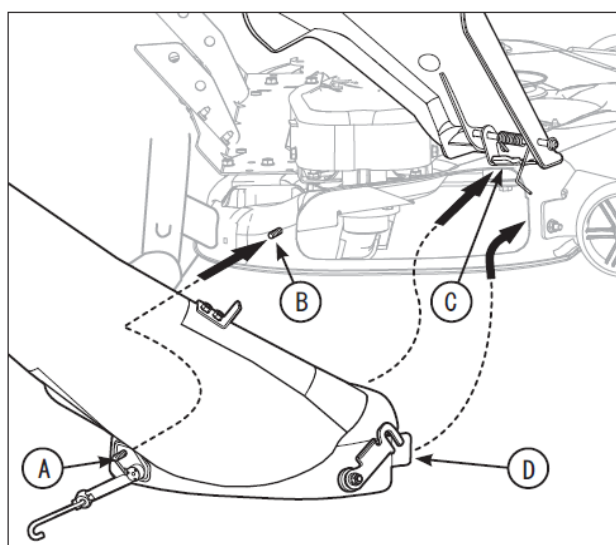


図 11

5. 掛け金（図 14 の A）を回して、モアデッキの取り付け金具 Assy（B）（組み立て-モア取り付け金具の取り付け-手順 2 で取り付け）の凹部にはめてください。

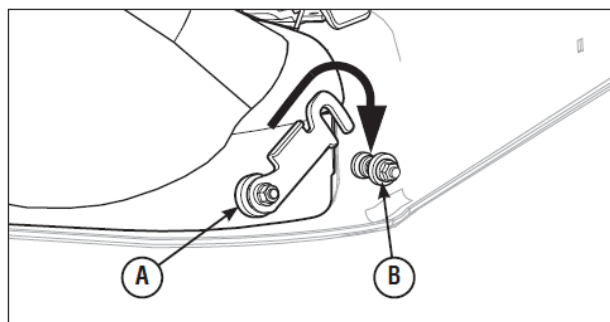


図 14

6. 取り付け用ストラップ（図 15 の D）のフック（C）をローラーバー支援ブラケット（E）に固定してください。

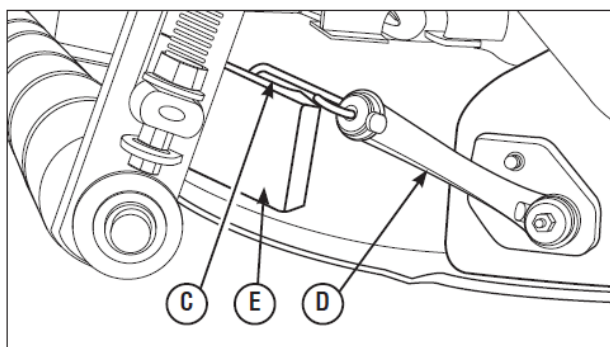


図 15

チューブ（上）と透明チューブの取り付け

1. 透明チューブ（図 16 の A）をチューブ（上）（B）の中に差し込んでください。
2. 図 16 のように、チューブ（上）の 46 “モア用の穴と透明チューブの穴（C）をネジ（D）で締めてください。

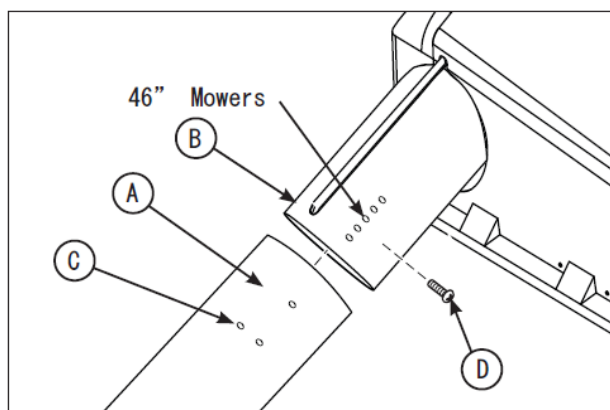


図 16

3. 組み付けられたチューブ（図 17 の E）の背（G）をカバー-Assy（F）の切れ込み（H）に合わせて、差し込んでください。

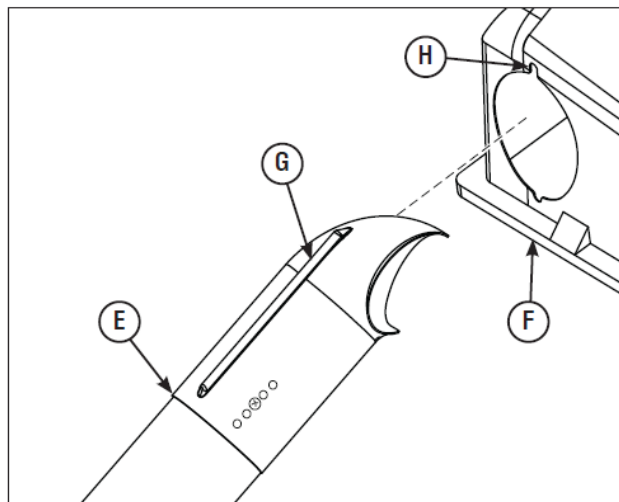


図 17

4. 透明チューブ（図 18 の I）を集草用排出口カバー（J）に差し込んでください。ストラップ（K）の穴をピン（L）に引っ掛けてください。

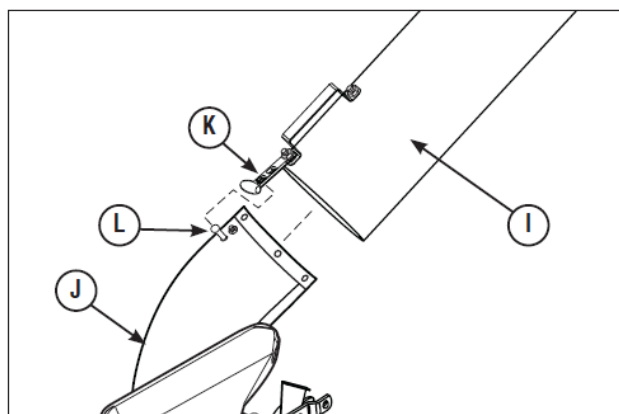


図 18

集草袋の取り付け

1. カバー-Assy（図 19 の A）を上げてください。
2. 集草袋（B）を、集草袋ハンガー（C）で集草袋ハンガー用支柱（D）に取り付けてください。
※ 座席を前に倒しカバーを上げた状態にしてください。

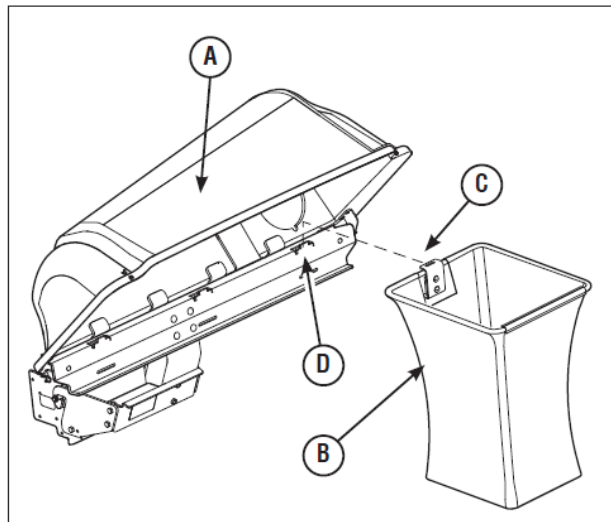


図 19

操作

操作の前に

芝地から、枝、石、電線、その他のロータリー刃に引っかかったりはじきとばされたりしそうな障害物を取り除いてください。

芝地の状態を確認、もし湿っていたら、しばらく待ってください。

芝生が湿っていると、集草装置が詰まりやすくなります。

集草を効果的にするには、モアデッキの下、チューブを通してグラスキャッチャーまたは集草袋までの空気の循環が重要です。

この理由により、芝刈りを始める前に、モアデッキの内側とグラスキャッチャーのふたの内側に刈り芝やごみが付いていないか確認してください。

モアデッキ、ブローハウジング、チューブ、グラスキャッチャーカバーがぴったりとはまっているか確認してください。



グラスキャッチャーを付けての芝刈り作業

芝刈り作業時には常にスロットルを最速にして作業してください。

芝地は頻りに刈り、一度に短く刈りすぎないように管理する必要があります。芝生が長すぎたり、密生し過ぎている場合には、詰まりを防ぐために、作業速度をゆっくりにするか、モアの刈幅の半分で刈る必要があります。芝生が長い場合には、まずモアの刈高を高くして最初に刈り、次に刈高を下げて刈ってください。

刈り芝がチューブに吸い上げられていっているかを見るには、チューブを外から眺めてください。**モアが接続した状態で、カバーを開けないでください。**

もし、大量の刈り芝がモアデッキの下からあふれ出てきたら、チューブが詰まっているか、集草袋がいっぱいになっているので、芝刈りを続けしないで、芝刈機を停止させ、PTOスイッチの連結を解除し、それから集草袋の中身を捨て、チューブをきれいにしてください。

警告

常に芝刈機のエンジンを止め、PTOの連結を解除し、全ての可動部品が止まるのを待ってから、チューブの取り外しと清掃や、集草袋の中身を捨ててください。

いかなる理由でも、作業者が座席を離れる際には、駐車ブレーキをかけ、PTOの連結を解除し、エンジンを止め、キーを抜いてください。

火災の発生を減らすために、エンジン、芝刈機、モアに着いている刈り芝、落ち葉、余分なグリースをきれいにしてください。

乾いた落ち葉や刈り芝、可燃性のものの上に芝刈機を駐停車しないでください。

作業の後に

グラスキャッチャーカバーの裏側のスクリーンの汚れをきれいに清掃してください。

ブローハウジングとチューブを取り外し清掃してください。

集草袋が擦り切れていたり、傷がついていないか確認してください。モアデッキ、ブローハウジング、グラスキャッチャーカバーがきちんと取り付いているか確認してください。

注意

刈り芝を集草袋の中に入れてそのままにしないでください。使用のたびに、倉庫に入れる前に、集草袋を空にしてください。これを怠ると、自然発火が原因で火災に至ることが多々あります。

グラスキャッチャーの取り外し

注意

グラスキャッチャー無しで芝刈り作業をするときは、排出口カバーはバネ荷重により下向きになっていることを確認してください。

1. カバーAssy (図 16 の A) の後部のハンドルを握り、カバーAssy を上げ、集草袋 (B) を取り出し、空にします。
2. ヒッチとフレーム Assy (C) を芝刈機のリアフレームから外します。
3. 集草用排出口カバー (D) からストラップを緩め、透明チューブとチューブ (上) の Assy (E) を外してください。
4. 排出口カバー (F) を持ち上げ、集草用排出口カバーの前の掛け金 (G) を上方向に回転させてください。
5. 取り付けストラップ (H) をリアブラケット (I) から外し、モアから集草用排出口カバーを引き抜いてください。
6. バッフル (J) を外してください。

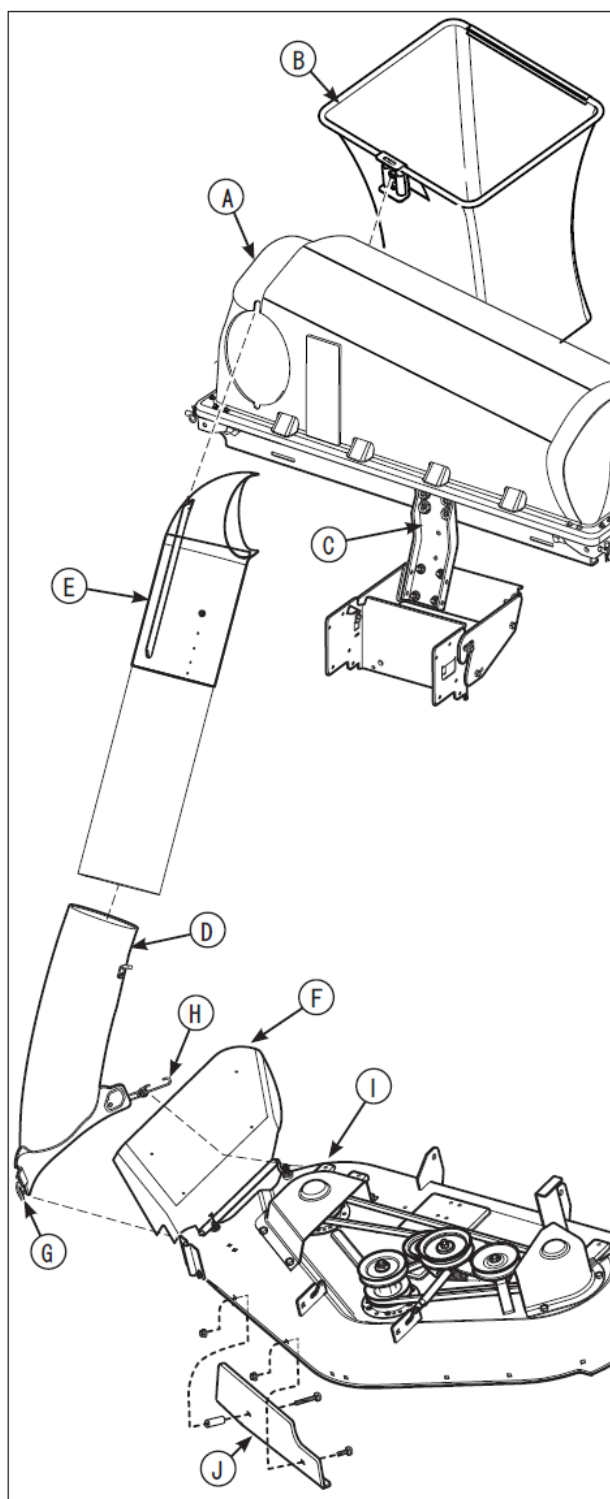


図 16

グラスキャッチャーの取り付け

1. ヒッチとフレーム Assy (図 20 の A) を芝刈機のリアフレーム支えに載せてください。
2. カバー Assy (C) を上げてください。
3. 集草袋 (F) を集草袋ハンガー (G) で集草袋ハンガー用支柱に取り付けてください。
※ 座席を前に倒しカバーを上げた状態にしてください。

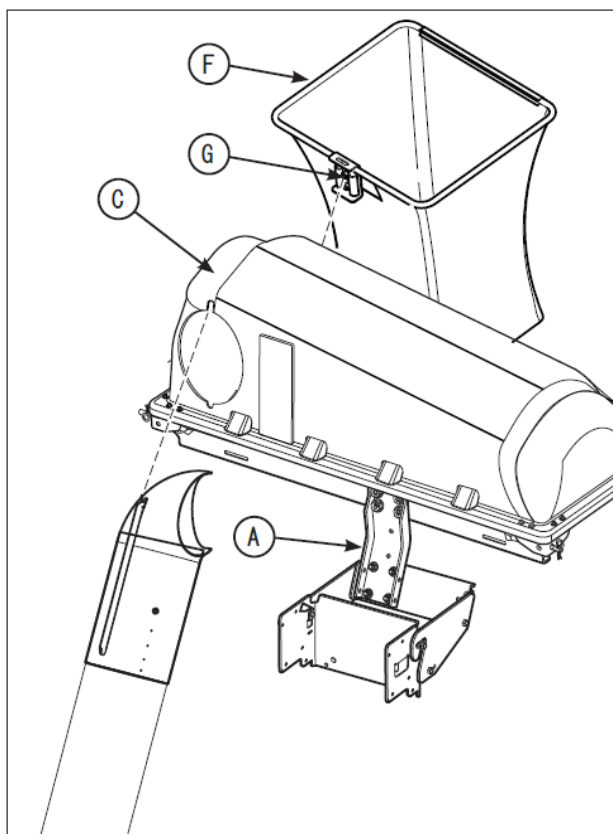


図 20

保管

グラスキャッチャーの保管

グラスキャッチャーを掃除するには、薄めた洗剤を使ってください。(他の製品はチューブを痛める可能性があります) グラスキャッチャーカバーの裏側のスクリーンの汚れをきれいに清掃してください。

金属部分の塗料がはがれていたら、タッチペンで塗るか、油の薄膜で保護してください。

腐食を防ぐために、乾いた場所に保管してください。保管する前に時間をかけて完全に乾かしてください。湿気を避けてください。

空白ページ

空白ページ

BARONESS[®]
Quality on Demand



株式会社 共栄社

〒442-8530
愛知県豊川市美幸町1-26

TEL (0533) 84-1221
FAX (0533) 84-1220